

令和2年2月6日付【日本水道新聞】
九州支部・延岡市 宮崎県下で初
＜災害時協定を締結＞

災害時協定を締結

延岡市 宮崎県下で初
水コン協九州支部

延岡市は1月15日、全国上下水道コンサルタント協会九州支部と「災害時における復旧支援協力に関する協定」を締結した。同支部の協定締結は、宮崎県内では初めて。

同支部の熊本地震における支援活動の実績を受け、同市は昨年より大規模災害などの対応能力の向上を目指し、支援協定



締結に向けた協議を進め、今回の基本協定締結に至った。

これに対し、甲斐義人

延岡市上下水道局長は

「本市は、平成19年度までの周辺市町との合併により九州で2番目に広い面積の市となり、行政人口も現在約12万人となっ

水道施設の早期復旧に繋

がり市民の安全・安心に寄与できるものと期待している」と述べ、両者間で日ごろから情報を共有し、災害対応能力の向上を図っていく考えを示した。

同支部の浅田廣美事務局長は「今回の災害支援協定の締結に際し、関係者の方々とさまざまなケースを想定し、具体的な活動のあり方について幅広く議論させていただいた。当協会は、上下水道事業の一端を担う団体として、可能な限り事業体と一体となって災害対応に当たっていく考えだ」と支援への抱負を語った。

上水道事業に統合してきた経緯から広範囲にわたって多くの施設を有している。簡易水道事業を

近年、頻発している。近年、頻発している

豪雨災害や南海トラフ

巨大地震の発生リスクが

高まる中、今回の協定が

市民生活に直結している

水道施設の早期復旧に繋